

食品に関するリスクコミュニケーション 米国・カナダ産牛肉等に係る食品健康影響評価案に関する意見交換会 アンケート集計結果

開催日：2005年11月14日（月）～11月22日（火）

参加者数：905名 回答数：534名 回答率：59.0%

問1. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。**性別**

回答内容	件数	割合
1.男性	351	65.7%
2.女性	181	33.9%
無回答	2	0.4%
	534	100.0%

年齢

回答内容	件数	割合
1.20歳未満	2	0.4%
2.20歳代	32	6.0%
3.30歳代	92	17.2%
4.40歳代	166	31.1%
5.50歳代	157	29.4%
6.60歳代	67	12.5%
7.70歳以上	17	3.2%
無回答	1	0.2%
	534	100.0%

職業

回答内容	件数	割合
1.消費者団体	116	21.7%
2.主婦、学生、無職	66	12.4%
3.生産者	32	6.0%
4.食品関連事業者	114	21.3%
5.マスコミ	2	0.4%
6.行政	136	25.5%
7.食品関連研究・教育機関	20	3.7%
8.その他	39	7.3%
無回答	9	1.7%
	534	100.0%

本日の意見交換会開催をお知りになった方法（複数回答）

回答内容	件数	回答者数に対する割合
1.食品安全委員会のホームページ	146	27.3%
2.食品安全委員会からのご案内資料	101	18.9%
3.関係団体からのご案内資料	210	39.3%
4.知人からの紹介	36	6.7%
5.新聞やインターネットからの情報	35	6.6%
6.その他	19	3.6%
無回答	9	1.7%
	556	

本日の意見交換会に参加された動機

回答内容	件数	割合
1.今回、プリオン専門調査会がまとめた審議結果（案）について詳細を知りたかったから	178	33.3%
2.米国およびカナダにおけるBSE対策についての情報を入手したかったから	96	18.0%
3.行政や専門家に直接意見を言いたかったから	40	7.5%
4.業務の一環として参加する必要があるから	96	18.0%
5.政府の行うリスクコミュニケーションの取組みについて関心があったから	70	13.1%
6.その他	17	3.2%
無回答	37	6.9%
	534	100.0%

「100%安全な食品はないこと」について、あなたはどのように思われますか。

回答内容	件数	割合
1.強く思う	302	56.6%
2.やや思う	170	31.8%
3.あまりそう思わない	22	4.1%
4.全くそう思わない	20	3.7%
5.わからない	4	0.7%
無回答	16	3.0%
	534	100.0%

問2.【意見交換会に参加する前】と【意見交換会に参加して】について
審議結果(案)の結論について

【意見交換会に参加する前】

回答内容	件数	割合
1.理解している	296	55.4%
2.理解していなかった	106	19.9%
3.どちらともいえない	112	21.0%
無回答	20	3.7%
	534	100.0%

【意見交換会に参加して】

回答内容	件数	割合
1.理解が深まった	267	50.0%
2.変化なし	188	35.2%
3.わからなくなった	45	8.4%
無回答	34	6.4%
	534	100.0%

今回の食品健康影響評価の、プリオン専門調査会での調査審議期間について
【意見交換会に参加する前】

回答内容	件数	割合
1.短すぎた	210	39.3%
2.適当であった	203	38.0%
3.長すぎた	79	14.8%
無回答	42	7.9%
	534	100.0%

【意見交換会に参加して】

回答内容	件数	割合
1.短すぎた	221	41.4%
2.適当であった	211	39.5%
3.長すぎた	53	9.9%
無回答	49	9.2%
	534	100.0%

我が国の食品安全行政の役割分担について

【意見交換会に参加する前】

回答内容	件数	割合
1.知っていた	417	78.1%
2.知らなかった	96	18.0%
無回答	21	3.9%
	534	100.0%

【意見交換会に参加して】

回答内容	件数	割合
1.理解が深まった	175	32.8%
2.変化なし	295	55.2%
3.わからなくなった	30	5.6%
無回答	34	6.4%
	534	100.0%

食品安全委員会の取組について**【意見交換会に参加する前】**

回答内容	件数	割合
1.信頼していた	206	38.6%
2.信頼していなかった	65	12.2%
3.どちらともいえない	240	44.9%
無回答	23	4.3%
	534	100.0%

【意見交換会に参加して】

回答内容	件数	割合
1.信頼が深まった	103	19.3%
2.変化なし	323	60.5%
3.不信感が深まった	69	12.9%
無回答	39	7.3%
	534	100.0%

問3.本日の意見交換会の実施方法についてお聞きします。**意見交換会の開催時期（意見・情報の募集期間中の開催）**

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	38	7.1%
2.適切だった	347	65.0%
3.あまり適切ではない	99	18.5%
4.全く適切ではない	18	3.4%
無回答	32	6.0%
	534	100.0%

意見交換会の開催方法（開催お知らせの方法、参加の手続き）

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	17	3.2%
2.適切だった	339	63.5%
3.あまり適切ではない	122	22.8%
4.全く適切ではない	22	4.1%
無回答	34	6.4%
	534	100.0%

配布資料

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	26	4.9%
2.わかりやすかった	323	60.5%
3.わかりにくかった	142	26.6%
4.全くわからなかった	1	0.2%
無回答	42	7.9%
	534	100.0%

専門家による講演

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	34	6.4%
2.わかりやすかった	286	53.6%
3.わかりにくかった	165	30.9%
4.全くわからなかった	8	1.5%
無回答	41	7.7%
	534	100.0%

パネルディスカッションの進め方

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	29	5.4%
2.適切だった	330	61.8%
3.あまり適切ではない	106	19.9%
4.全く適切ではない	10	1.9%
無回答	59	11.0%
	534	100.0%

意見交換時の応答

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	14	2.6%
2.わかりやすかった	253	47.4%
3.わかりにくかった	181	33.9%
4.全くわからなかった	10	1.9%
無回答	76	14.2%
	534	100.0%

意見交換会全体

回答内容	件数	割合
1.評価する	44	8.2%
2.おおむね評価する	306	57.3%
3.あまり評価しない	113	21.2%
4.全く評価しない	7	1.3%
無回答	64	12.0%
	534	100.0%

問4. 食品安全委員会の取組のうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んでください。

(複数回答)

回答内容	件数	回答者数に対する割合
1.委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと	238	44.6%
2.食品安全委員会のホームページ	367	68.7%
3.食の安全ダイヤル	154	28.8%
4.食品安全モニター制度	202	37.8%
5.季刊誌『食品安全』	209	39.1%
6.食品の安全性に関する用語集	222	41.6%
7.食品の安全性に関する政府広報	133	24.9%
8.その他	3	0.6%
無回答	109	20.4%
	1637	

問5. 今後食品安全委員会の行う意見交換会で取り上げてほしいテーマはありますか。

(複数回答)

回答内容	件数	回答者数に対する割合
1.残留農業	182	34.1%
2.食品添加物	135	25.3%
3.食品中に混入する汚染物質	109	20.4%
4.遺伝子組み換え食品	190	35.6%
5.動物用抗菌性物質	105	19.7%
6.BSE	146	27.3%
7.有害微生物・ウイルス	131	24.5%
8.新開発食品	63	11.8%
9.リスクコミュニケーション	78	14.6%
10.その他	26	4.9%
無回答	66	12.4%
	1231	